

2022年9月5日

内閣総理大臣 岸田文雄 様

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-23-14

日本同盟基督教団「教会と国家」委員会

委員長 本間羊一

安倍晋三元首相の国葬に対する抗議声明

私たち日本同盟基督教団「教会と国家」委員会は、2022年7月8日、参議院選挙の街頭演説中に襲撃され死亡した安倍晋三元首相の国葬を9月27日に行うと閣議決定したことに對して、以下の理由で強く抗議いたします。

1. 抗議の対象とする事実

岸田文雄首相は、7月14日の記者会見で、参議院選挙の街頭演説中に銃撃を受け死去した安倍晋三元首相の葬儀について、「暴力に屈せず、民主主義を断固として守り抜く決意を示す」ため「国葬」として実施すると発表し、7月22日に閣議決定しました。また、費用は国の儀式として全額国費とされますが、約2億5000万円を支出することが8月26日の閣議によって決定されました。ただし、費用の総額は、「国葬」実施後に明らかにすると述べられています。

2. 「国葬」は政教分離違反であり、基本的人権の侵害である

そもそも、葬儀という人の死を扱う事柄は、どうしても宗教的にならざるを得ません。そこに、死者や遺族に対する何らかの目的があり、ある作法が用いられる限り、たとえ「無宗教」を標榜したとしても必然的に何らかの宗教性を帯びることになります。「完全に無宗教の葬儀」というもの自体が本来はあり得ないのですから、それを国が行うとすれば明らかに憲法の政教分離に違反することになります。ましてや、そこに安倍元首相を顕彰しようとする意図がもしあるとすれば、それは靖国神社に祀ったいわゆる「英霊」に対するのと同じ構造のことを行なうことに他ならず、政教分離違反はますます明らかです。さらに、7月12日に行われた安倍晋三元首相の葬儀において、少なくない学校等に半旗の掲揚が求められました。これが「国葬」ともなれば、半旗の掲揚のみならず、黙祷や歌舞音曲の自粛といった弔意表明の強要が有形無形でなされかねません。もしそうならばこれは主権在民、基本的人権という憲法の原則を犯すものです。

私たちは、「思想及び良心の自由は、これを侵してはならない」（憲法第19条）、および「信教の自由は、何人に対してもこれを保障する」「何人も、宗教上の行為、祝典、儀式又は行事に参加することを強制されない」「国及びその機関は、宗教教育その他のいかなる宗教的活動もしてはならない。」（憲法第20条）という政教分離原則、基本的人権を政府が明確に遵守することを求めます。

3. 「国葬」への自衛隊の参列は軍国主義への復活である

さらに、安倍晋三元首相の「家族葬」において、陸上自衛隊の特別儀仗隊が参列しました。磯崎仁彦官房副長官は「自衛隊の最高指揮官だった元首相の葬儀に際し、防衛省・自衛隊としての弔意を表すため」の参列であったと述べています。そうであるならば、「国葬」ともなれば、再び自衛隊が参列することは火を見るより明らかです。特に安倍晋三元首相は在任中、特定秘密保護法を制定し、集団的自衛権行使を容認する閣議決定を行い、安全保障関連法を制定しました。そして、「憲法9条への自衛隊の明記」「緊急事態条項の設置」等の改憲を強力に推進しようとしていました。

私たちは、安倍晋三元首相の「国葬」に、自衛隊が再び参列することによって、軍国主義が復活し、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こる」ことを大いに危惧するものです。

4. 問題なのは民主主義への挑戦ではなく、政教癒着である

確かに、演説中の人を銃で殺害する、ということは暴力以外の何物でもなく、言論の封殺は民主主義への挑戦であり、断固反対しなくてはなりません。ところが事件後、その容疑者の取り調べを発端として明らかになってきたのは、安倍晋三元首相のみならず、閣僚を含む多くの国会議員と旧統一協会との関係です。そもそも安倍晋三元首相の祖父岸信介元首相にまで遡る政治家と旧統一協会とのこれまでの長い親密な関係があったからこそ、今回のような事件が起こったのです。とりわけ、旧統一協会の反社会性・カルト性は、今回初めて分かったことではなく以前から知られていたことのはずです。ですから、まず、自民党と旧統一協会の関係、さらには、すべての政治家と旧統一協会のみならず、あらゆる宗教団体との関係を白日のもとに晒すべきです。今回の事件は民主主義に対する挑戦というより、政教癒着が引き起こしたものだからです。

私たちは、民主主義についての議論以前に、「国及びその機関は、・・・いかなる宗教的活動もしてはならない」(憲法第20条3項)、及び「公金その他の公の財産は、宗教上の組織若しくは団体の使用、便益若しくは維持のため、・・・これを支出し、又はその利用に供してはならない」(憲法第89条)という政教分離規定を政府が明確に遵守することを求めます。

以上の理由から私たち日本同盟基督教団「教会と国家」委員会は、政府に対して、安倍晋三元首相の「国葬」を閣議決定したことに強く抗議し、その撤回を求めます。

「主はあなたに告げられた。人よ、何が良いことなのか、主があなたに何を求めておられるのかを。それは、ただ公正を行い、誠実を愛し、へりくだって、あなたの神とともに歩むことではないか。」(ミカ書6:8)